（第2号様式）

向 陽 第 2410 号
令和 6年 3月 21日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立向陽高等学校
校長　宮城 竜幸
（公印省略）

令和5年度県立学校学校評議員の運営状況について（報告）

令和5年12月12日付け教県第1744号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	令和5年7月21日	場所	向陽高校視聴覚教室	出席状況	全員出席
第2回	日時	令和5年12月25日	場所	向陽高校視聴覚教室	出席状況	4名出席（富田杏理さん欠席）
第3回	日時	令和6年3月15日	場所	向陽高校視聴覚教室	出席状況	3名出席 （與那篤史さん、富田杏理さん欠席）

2 学校評議員に求めた事項

【第1回】 本校の学校概要（学校経営方針、1学期の主な行事、生徒表彰、生徒の進路希望状況、生徒指導手順、保健室利用状況、SSHの取り組み、学校評価報告）を説明した後、質問や助言、意見等を聴取した。
【第2回】2学期の学校概要（2学期の主な行事、生徒表彰、2学期末出席・成績状況、部活動の状況、SSHの取り組み、平和学習取り組み状況、図南寮ようす）を説明した後、質問や意見、助言等を聴取した。
【第3回】 本校の学校概要（三学期の主な行事、生徒の表彰関係、生徒の成績・勤怠状況、三年生進路決定状況、スタディサプリ活用状況、保健室利用状況、SSHの取り組み、生徒指導状況、学校評価集約結果報告）を説明した後、質問や助言、意見等を聴取した。

3 学校評議員の意見

【第1回】・・・早朝講座希望制移行に伴う状況質問があった。またスクールミッションなどで進学校としての特色をもっと出した方がよいとの意見あり。ハーリーへの参加等で地域交流への意見あり。高校総体躍進賞に対する激励、進学実績に対する評価の言葉があり、今後も進学指導への注力をとの助言があった。
【第2回】・・・進路指導、学習指導について、生徒の「自走」への一歩踏み込んだ取り組みがなされている、この協力体制の維持・継続をとの助言あり。学校と地域との協力・連携を今後も継続するよう助言あり。
【第3回】・・・本校の進路決定状況については、評価する声があった。学校の早朝講座や生徒の進学に向けた取り組みに対するねぎらいの意見が多くあった。生徒の活躍等についても評価の声があった。生徒のスマホ利用については今後も指導をとの意見あり。生徒の県外高校生徒の交流や保護者のマナーに意見あり。

4 学校運営に反映した事項

【第1回】施設設備に関する意見を受け、施設設備の管理・点検へ反映させた。進学指導について、生徒の学力や動機付けへの質問を受け、今後も見直しと取り組みを行うこととしている。地域との交流は検討する。
【第2回】スーパーサイエンスハイスクール事業に関して、地域の農業等との関わりの助言があり、今年度及び次年度の事業に取り入れた。データサイエンスや成果の波及についても次年度の事業計画に反映させた。
【第3回】生徒送迎時の保護者の運転マナーについては、地域住民への配慮と併せて呼びかけを継続。
県外高校との交流促進の助言があり、SSH事業等で計画に沿って推進することとしている。

5 課題その他

・第1回の会議で地域代表から、台風接近時に本校の火災警報が故障により長時間鳴動していたため近隣住民から苦情があったとの学校の対応を問う質問を受けた。原因は教室棟外廊下消火栓の劣化による浸水で修繕完了している、今後は無きよう万全を期すと説明した。
・学校と地域との協力・連携については、SSH事業やハーリーなどの行事で交流に引き続き取り組む。
・地域から、送迎時の保護者運転マナーについて指摘があり、今後もPTAと共有し改善を図る。